

保健管理センター所長
小林 由直

麻しん等の集団感染の予防と予防接種歴調査票の提出について
ご協力をお願い

三重大学では、入学時に、麻しん・風しん・流行性耳下腺炎(ムンプス、おたふくかぜ)・水痘(水ぼうそう)・結核の5種感染症の予防接種歴の確認をしています。

特に、麻しんウイルスは伝染力が極めて強く、かかると肺炎や脳炎などの合併症を併発する可能性があります。過去に大流行した際には、多くの大学が休校に追い込まれる事態となりました。最近では、2018年末に津市で開かれた研修会の参加者が麻しんに集団感染し、県内外へも感染が拡大したことが大きく報道されています。

また、風しんは、2013年及び2018～2019年に大流行があり、今後もこのような流行が再び起こることが危惧されます。このような流行の原因として、麻しん・風しんワクチン未接種者や未罹患者に加え、ワクチン接種から10年以上が経過して免疫抗体の減少した者が増加したことなど、集団の感染防御抗体保有率が低くなっていることが考えられています。

以上より、ご自身の感染予防と学内集団感染予防のため、学生の皆様には、以下の3点につきご協力をお願いいたします。

- ① 麻しん・風しん・水痘・流行性耳下腺炎などに罹患したことがない、かつ、ワクチン未接種(必要回数を満たしていない場合を含む)の方は、かかりつけ医と相談の上、ワクチン接種、又は抗体検査を受けることをお勧めします。
- ② 全身の発疹または水疱、耳下腺の腫脹などを認めるとき、あるいは2週間以上続く咳や痰があるときは、入学前に医療機関を受診してください。
- ③ ご自分の罹患歴と予防接種歴を母子手帳等でご確認の上、**予防接種歴調査票をご自身でダウンロードし、記入済のものを入学手続き時に提出してください(分かる範囲でご記入ください)。**